



1

はじめに



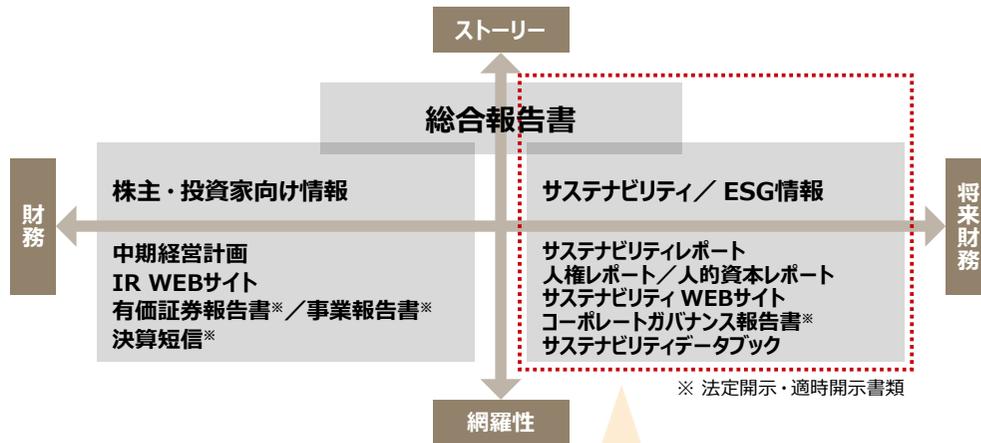
1 はじめに

# サステナビリティ レポートへの考え方

当社グループでは、情報の種類やステークホルダーの関心に応じて、レポートやWEBサイトなど、さまざまな媒体で当社グループの取組みを開示しています。

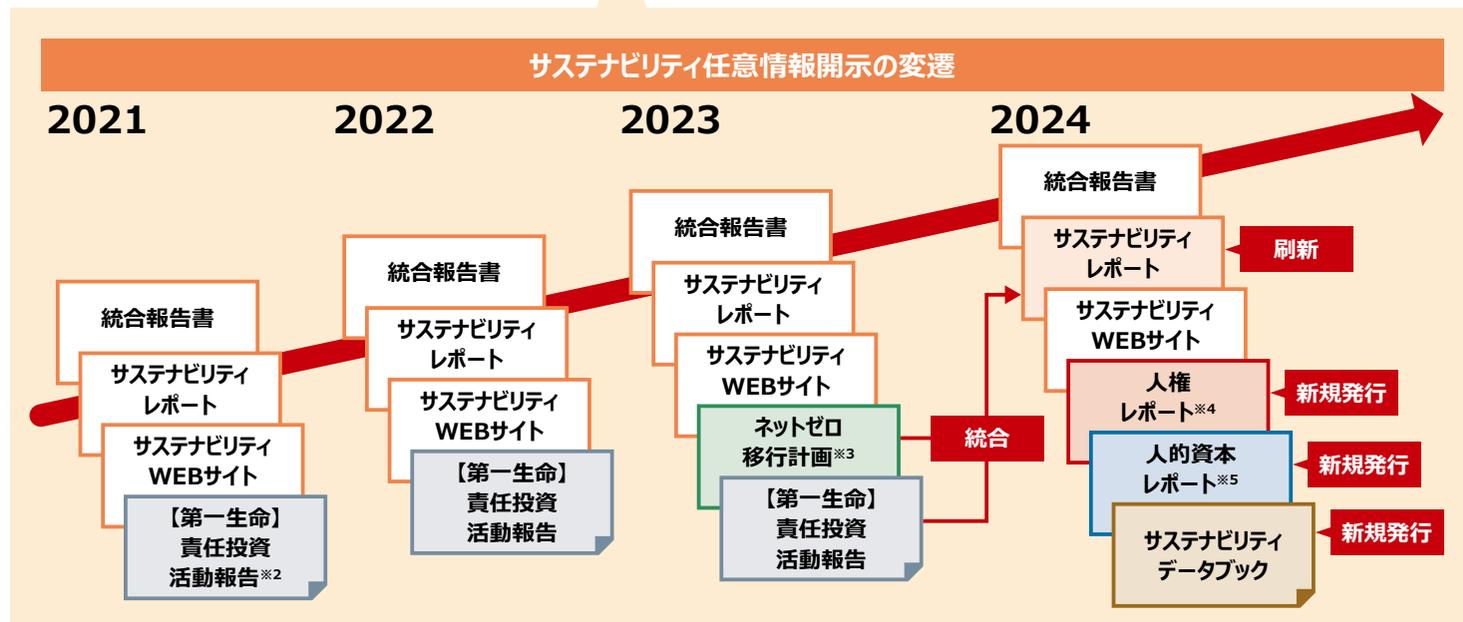
サステナビリティ情報開示においては、サステナビリティレポートを主要な開示物と位置付け、サステナビリティに対する考え方や主な取組みについて詳細に開示しています。また、国内外の情勢なども踏まえ、テーマ別レポートも発行しています。2024年度はサステナビリティレポートを刷新するとともに、人権レポート・人的資本レポート・サステナビリティデータブックを新たに発行しました。

情報開示体系※1



- ※1 第一生命HDとしての情報開示体系
- ※2 第一生命の責任投資（ESG投融資およびスチュワードシップ活動）に対する基本的な考え方や具体的な取組みを掲載
- ※3 グループ全体の事業活動を通じて排出する温室効果ガスを2040年度までに、第一生命のサプライチェーンと運用ポートフォリオの温室効果ガスを2050年度までにそれぞれネットゼロとする目標の達成に向けた行動計画
- ※4 当社グループの人権に関する取組みの透明性を高め、グローバルに事業を展開する企業として責任ある対応を一層推進するべく発行
- ※5 当社グループの人的資本に対する想いと取組みを網羅的・体系的に整理

サステナビリティ任意情報開示の変遷



## CEOメッセージ

サステナブルな社会の実現に向け、  
コア・マテリアリティに基づく事業活動などによって、  
社会にポジティブインパクトを与えながら経営基盤を持続的に強化していきます

第一生命グループは1902年の創業以来、生命保険事業などを通じて、各時代における人々のニーズに合った安心を提供することで、お客さまの安心で豊かな暮らしと地域社会の発展に貢献してきました。現在は、国内外10カ国に事業展開するグローバル保険グループとして、グループ各社がそれぞれの国や地域でお客さまのさまざまなニーズにお応えする商品・サービスを提供しています。

当社グループは、2024年度から「第一生命グループ2024-26年度中期経営計画」をスタートさせました。ますます社会の変化が激しくなるなかで、新中計で目指す姿の実現に向けてグループ一丸となって邁進するべく、グループの社会における存在意義であるグループパーパスを新たに制定するとともに、バリューズも創業以来大切にしてきた価値観をベースに改めて見直しました。新たなグループパーパスである「共に歩み、未来をひらく 多様な幸せと希望に満ちた世界へ」には、当社グループがすべてのステークホルダーの皆さまの多様な価値観に寄り添い、新しい道を切り拓くことで、お届けする価値を拡大するとともに、未来を見据えて、持続的な社会の実現にグローバルなスケールで貢献したいという意思を示しています。また、グループパーパスの制定と合わせて、当社グループが優先的に取り組む重要課題を“コア・マテリアリティ”として定義しました。このような経営の基盤に関わる決定が、新中計の人財戦略や従前から取り組んでいるガバナンスの強化と相まって、2030年度に目指す姿である「グローバルトップティアに伍する保険グループ」「日本の保険業界の未来を先導する存在」に向けて、グループの役職員を大きく一つにまとめる推進力になると考えています。

私たち、第一生命グループは、これからもサステナブルな社会の実現に向け、地球環境、地域・社会の課題解決につながる価値をお届けしていきたいと考えています。そのために、コア・マテリアリティに基づく事業活動などによって社会価値と経済価値を共に生み出すことで、社会にポジティブインパクトを与えながら当社グループ自身の財務・非財務の経営基盤を持続的に強化してまいります。

第一生命ホールディングス株式会社  
代表取締役社長 CEO

菊田 徹也



1 はじめに

## 社会課題解決への 貢献の歴史

当社グループは1902年の創業以来、生命保険などを通じて多様化するお客さまニーズに機動的にお応えし、各国における生命保険の普及や発展に貢献するとともに、社会課題解決に取り組んできました。

第一生命グループの進化



お客さまへの価値提供・社会との協業

### 1902年

日本で最初の相互会社として創業

### 1902

### 1935年

結核の予防・治療を目的に「(財) 保生会」を設立

### 1950年代

「保健文化賞」の創設、「財団法人心臓血管研究所」の設立を通じて社会貢献の推進

### 1990年

国が進める都市緑化推進に寄与するため「緑のデザイン賞(現: 緑の環境プラン大賞)」を創設

### 1997年

一生涯にわたってお客さまに安心をお届けする「生涯設計」のコンセプトを打ち出す

### 1999年

業界初、「保険料払込免除特約」を発売

### 2007年以降

アジア・パシフィック地域の複数の国で事業を展開。生命保険の普及・拡大を通じて、安心をご提供

### 2000~

### 2006年

高齢社会における貯蓄、資産形成ニーズに対応するべく「第一フロンティア生命」を設立

### 2010年以降

地域課題解決に向けて、47都道府県、市区町村等自治体と連携

### 2010年

大手生命保険相互会社として初めて、株式会社化

### 2014年

「ネオファースト生命」を子会社化し、国内3生保体制を構築

### 2015年

世界最大の生命保険市場である北米地域へ海外保険事業を展開

### 2016年以降

アセットマネジメントOneの発足、アセットマネジメント事業の強化・高度化

### 2016年

持株会社体制に移行

### 2010~

### 2018年

第一生命にて、業界初、健康診断結果の提出で保険料を割り引く「健康診断割引特約(健診割)」を導入

### 2019年

第一生命にて「RE100 (Renewable Energy 100%)」に国内生命保険会社として初めて参画

### 2021年

第一生命にて「ネットゼロ・アセットオーナー・アライアンス (NZAOA)」に加盟、「Glasgow Financial Alliance for Net Zero (GFANZ)」に参画

### 2023年

ペット、お客さま双方のwell-being向上を目指し、アイペット損保を子会社化

### 2024年

非保険領域の拡大に向けて、ベネフィット・ワンを子会社化

### 2020~

### 2021年

第一生命にて、「CXデザイン戦略」を中核戦略に据え、デジタル環境で手続きが完結する「デジホ」の提供を開始



1 | はじめに

## 第一生命グループ 企業理念

2024年度にグループ企業理念を再策定し、当社グループが目指す新たな未来への指針として、パーパス（グループの社会における存在意義）とバリューズ（大切にする価値観）を策定しました。

パーパスを策定するにあたっては、当社グループの4つのコア・マテリアリティ（重要課題）を踏まえて検討を進めました。コア・マテリアリティで定めた社会課題の解決に、企業活動を通じて取り組むことで、パーパスで描く世界を実現することを目指します。

## 第一生命グループ企業理念

# Purpose

グループの社会における存在意義

共に歩み、未来をひらく  
多様な幸せと希望に満ちた世界へ

Partnering with you to build a brighter and more secure future



# Values

大切にする価値観

いちばん、人を考える

We care

私たちは、お客さま、地域・社会、株主・投資家、お取引先、従業員など、企業活動を通じて関わるあらゆる「人」のことを誰よりも真剣に考えます。

まっすぐに、  
最良を追求する  
We do what's right

私たちは、お客さまや社会にとっての「最良」を常に誠実に追い求めます。

まっさきに、  
変革を実現する  
We innovate

私たちは、スピード感をもって自ら変革し続けます。

## Brand Message

Purpose を端的に表したコミュニケーションメッセージ

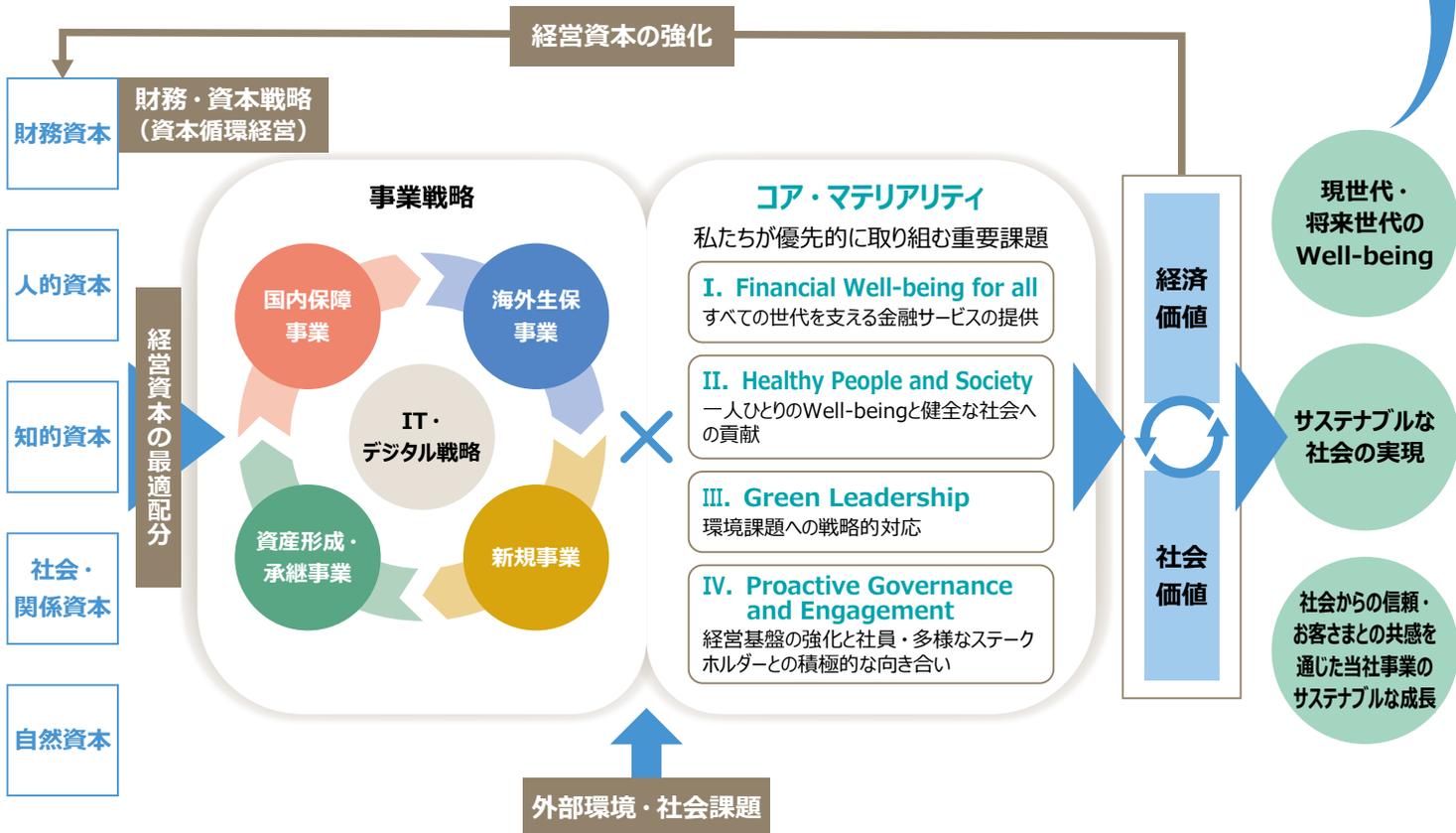
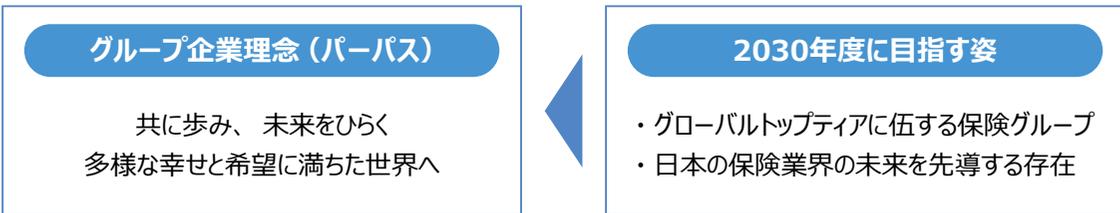
一生涯のパートナー

By your side, for life

1 はじめに

# 価値創造プロセス

当社グループが目指すのは、多様な幸せと希望に満ちた世界です。豊富で多様な人財、強固なお客さま基盤・財務資本といった強みをベースに、コア・マテリアリティに基づく事業の実践を通じて社会価値と経済価値を創出していくことで、当社グループの持続的な成長とともに、目指す世界を実現していきます。



現代・将来世代の Well-being

サステナブルな社会の実現

社会からの信頼・お客さまとの共感を通じた当社事業のサステナブルな成長